

2025

8月号  
Vol.113

# 担い手 サポートセンター

# 通信



写真上：JA小山 大山 晃征さん  
写真下：(左から) JA足利 菊地 秀幸さん、俊一さん、俊幸さん

## CONTENTS

サポートセンター情報	頑張る担い手インタビュー !!	2	園芸情報	全農ジフィーセブン	11
中央会情報	熱中症警戒アラート全国運用中	4	農薬情報	バイオスティミュラント 微生物資材「クロスバリュウ」	12
農林中金情報	あなたの暮らしに+JA プレゼント	6	肥料情報	高温対策専用バイオスティミュラント「炎天下マスター」	13
サポートセンター情報	営農・経済担当人材育成研修会を開催いたしました	7	農業機械情報	JA&ヤンマー 関東6県 JAグループ スペシャルトラクター	14
米麦情報	お米は大切な商品です	8	生活情報	商品紹介「ヤケーヌ」	15
米麦情報	稲大豆の技術対策 (8月)	9	野生を食べる／編集後記		16
生産振興情報	ジュース用トマト新規栽培者募集	10			

## 頑張る担い手インタビュー!!

- ▶ お名前：大山 晃征 (41)
- 品 種：いちご (12a)
- 就 農：令和7年4月1日～



本日は、JAおやま管内でいちごの生産に取り組まれている大山晃征さんをご紹介します。

### ▶ 就農までの経緯を教えてください。

大学卒業後、食品関係の仕事に16年ほど携わってきました。仕事を通じて一次産業への関心が徐々に高まっていたところ、いちご農家で定植作業や収穫作業を手伝う機会があり、実際に就農したいという思いが強くなりました。退職後はJAおやま新規就農塾で1年間栽培を学び、今年の4月から妻の祖父が梨を栽培していた圃場でいちご栽培を始めています。

### ▶ 新規就農塾について教えてください。

新規就農塾での研修は週6日で、3日は栃木県農業大学校でいちご栽培に関する座学を受け、残りの3日は新規就農塾から紹介を受けた農家で実習を行いました。新規就農塾に参加して特に良かったのは、人とのつながりができたことです。生産者同士の交流の場にも参加することができ、地域に仲間ができたことは、就農後の大きな支えになっています。もともと農業は一人で黙々と取り組むものだと思っていましたが、独立した今も実習先の農家さんや青年部の方々など、たくさんの方から気にかけていただけており、その温かいサポートに日々励まされています。



### ▶ 農業の魅力と現在の課題を教えてください。

農業の魅力は、日々の作業が収穫という成果につながるのだと感じています。手をかけた分だけ作物が育ち、その成長が目に見える形で実感できるのは、大きなやりがいです。一方で、課題は労働力の確保です。普段の栽培管理は基本的に一人で行っていますが、収穫期にはどうしても人手が必要となるので、周囲の方々の協力も得ながら体制を整えていきたいと考えています。

### ▶ 今後の目標を教えてください。

今作の目標は、計画している収量である10aあたり5.5tをしっかりと確保することです。将来的には、反収をさらに高めながら作付面積を広げ、経営の安定を図っていきたいと考えています。また、妻も農業に関心を持っており、「いずれ一緒にやりたい」と話してくれています。経営が軌道に乗った数年後には、妻も就農し家族で力を合わせて農業に取り組めるような体制を目指しています。

**地域の方々や農家仲間とのつながりを大切にしながら、前向きに農業に取り組む姿が印象的でした。本日はお忙しい中、ありがとうございました。**

## 頑張る担い手インタビュー!!

- ▶ お名前：菊地俊一(83)、俊幸(57)、秀幸(25)
- ▶ 品 種：いちご(とちあいか：20a、スカイベリー：10a)、  
          水稻(13ha)、麦(10ha)
- ▶ 就農年数：60年目、32年目、2年目



本日はJA足利管内で主にいちごの生産に親子三代で取り組まれている菊地さんをご紹介します。

### ▶ 就農までの経緯を教えてください。

実家が農家なので、自然と農業を継ぐと考えており、農業高校と農業大学に進学し、就農しました。(俊幸さん)

幼い頃から、農業に従事する父の姿を身近に見て育ち、その厳しさや大変さを肌で感じていました。そのため、高校では普通科を選びましたが、大学進学の際に心境が変化し、農学部に進学しました。卒業後は、アメリカで1年半の農業研修を経験し、その後帰国して就農しました。(秀幸さん)

### ▶ 栽培品目にいちごを選ばれた理由を教えてください。

就農当初はキュウリを栽培していましたが、先輩の農家さんからいちごの栽培を勧められたことが転機となりました。栽培に関する技術や知識は栃木県でいちご栽培技術を確立した仁井田一郎さんの下で指導を受けました。その後、23歳頃から本格的にいちごの栽培を開始し、現在までの約60年間親子三代に渡り栽培を継続しています。(俊一さん)



### ▶ 栽培へのモチベーションを教えてください。

手間をかけた分、品質の良いいちごを生産することができ、思った通りのものができると非常に嬉しく感じています。また、決まったルーティン作業がないことや毎年新しい技術を試せるなど、様々な挑戦をすることができるのが魅力で、これらがモチベーションになっています。

### ▶ 今後の目標と今後の農業について一言お願いいたします。

使用しているハウスが古いので、通気性の良いものにするなど、最近の暑さに負けないような作業環境を整備していきたいです。(俊幸さん)

休みを取りやすくするなどして、働きやすい環境を実現し、若い人手を増やしていきたいと考えています。また、将来的にはいちごの栽培規模を拡大し、単収を増やしていきたいです。(秀幸さん)

孫が就農して以来、本当に熱心に取り組んでくれており、その姿をととても頼もしく感じています。これからもその意欲を大切に、農業を続けてほしいと願っています。(俊一さん)

**親子三代の様々な歴史が詰まったいちごを生産されている農家さんでした。本日はお忙しいところありがとうございました。**

# 熱中症警戒アラート 全国運用中!

熱中症警戒アラートは、**熱中症の危険性が極めて高い**暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。

発表された情報はテレビ、防災無線、SNSを通じて発信されます。

報道機関  
(テレビ・ラジオ)



〇〇県で熱中症警戒アラートが発表されました。明日は熱中症予防行動を徹底しましょう。



防災無線

SNS



## 熱中症とは

暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患ですが、下記のような**予防行動**を行えば防ぐことができます。

## 熱中症警戒アラート発表時は**徹底した予防行動**を!



### エアコンを適切に使用しましょう

- 昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。



### 外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



### 熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分・塩分補給等を行うよう、声をかけましょう。



### 外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



### 普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分・塩分を補給しましょう。(1日あたり1.2Lが目安)
- 涼しい服装にしましょう。



### 暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

学校やイベントの管理者等においては現場に応じた対応策をあらかじめ定め、熱中症警戒アラート発表時には速やかに実行してください。

# 政府の熱中症対策

熱中症予防情報サイト：熱中症警戒アラート・暑さ指数・熱中症予防に関する情報



## 高齢者等の屋内における熱中症対策の強化

● 高齢者のための熱中症対策



(リーフレット)

## 管理者がいる場等における熱中症対策の促進

● 学校関係の熱中症情報



● 農作業中の熱中症対策



● スポーツの熱中症対策



● 防災における熱中症対策



(リーフレット)

● 学ぼう!備えよう!職場の仲間を守ろう!職場における熱中症予防情報



● 災害時情報提供アプリ「Safety tips」



For Android



For iPhone

## 地域における連携強化

● 熱中症に関連する気象情報



● 夏季における熱中症による救急搬送状況



● 健康・医療関係の熱中症情報



## その他

● エアコンの早期の試運転について



● ヒートアイランド対策



● 無理のない省エネ生活



マイボトルで  
熱中症予防を!



内閣府



子ども家庭庁



消防庁



文部科学省



スポーツ庁



厚生労働省



農林水産省



経済産業省



国土交通省



観光庁



気象庁



環境省

お取引がない方も、ご利用中の方も、  
**新しいお取引でプレゼント!**

JAバンク

あなたのために

プラス

**+JA**

**プレゼント**

はじめたらいいこと。使うほどいいこと。

対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

お手続きは  
お早めに!



リンク先(特設サイト)は、  
2025年4月1日から  
開設いたします

詳しくは  
こちらどうぞ!





## 営農・経済担当人材育成研修会(スマート農業)



2025年6月3日(火)

～営農・経済担当人材育成研修会(スマート農業)～を開催いたしました。

全国的に高齢化や人手不足による農地の集約化が進んでおり、その対策としてスマート農業が注目されています。栃木県内でも規模拡大や圃場・作業管理の効率化を期待して関心が高まっており、生産者の方々がスマート農業の技術をスムーズに導入・実践できるよう、必要なサポートや情報提供などが求められています。



今回の研修では、JA しおのや管内で3年前からザルビオを使用し、スマート農業を実践している富士山農園様の圃場をお借りし、営農経済担当者の組合員対応力の向上を目的として、営農支援システム「KSAS」を提供する(株)クボタ及びクボタアグリサービスの担当者、栽培管理支援システム「ザルビオ(xarvio)」を提供するBASF ジャパン株式会社の担当者を講師に招き、研修会を実施しました。

KSAS とザルビオは、昨年3月よりシステム連携を開始しています。ザルビオで作成した可変施肥マップをKSASへ取り込むことで、クボタの可変施肥対応田植機とシームレスに連携できるようになりました。

研修会には県内JA担当者12名が参加し、システムの使用法等の説明を受けました。また、可変施肥田植え機の実演と乗車体験も行いました。



参加者からは「実際に農機に乗り、可変施肥の画面や直進機能を体験できて良かった」「現状がわかり、参考になった」といった声がありました。

実演の様子見ることができ、有意義な研修会になりました。今後も研修会を通じて営農経済担当者の対応力向上に取り組んで参ります。

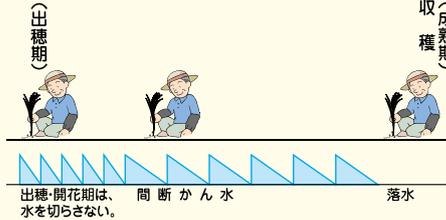
# お米は大切な商品です

～適切な水管理・被害粒等の混入防止と適期刈取で全量1等米を!～

## 登熟を高める水管理

- 出穂期は、こまめな間断かん水とし、その後、徐々にかん水間隔を伸ばしましょう。
- 出穂後は、間断かん水を基本とし、異常高温時には夕方から夜間のかん水により、地温を低下させましょう。
- 落水時期は、出穂後30日以降とし、その後も高温・多照が続く場合は、ほ場条件を考慮し、収穫7～10日前まで走り水を実施しましょう。

※出穂期とは、ほ場全体の4～5割が出穂した期日です。



**水管理のポイント**  
出穂後25日間(高温年は30日間)は「濡った田面」を継続します!

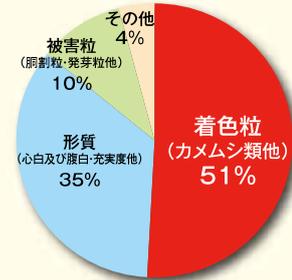
## イネカメムシ対策

- 出穂期に不稔籾発生防止のため薬剤散布を実施しましょう。
- 出穂期の7～10日後に着色粒(斑点米)防止のための薬剤散布を実施しましょう。

令和6年産水稲うるち玄米の2等以下に格付けされた主な理由(令和7年3月末/栃木県)

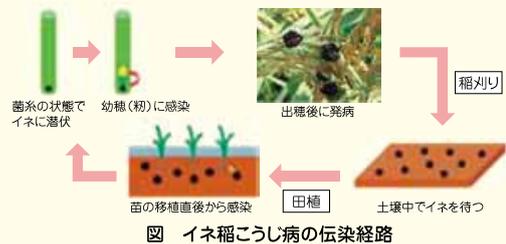
## 斑点米カメムシ対策

- 地域全体で休耕地や畦畔などの除草を出穂2～3週間前と出穂期頃の2回行い、斑点米カメムシ類の水田への侵入を低減しましょう。
- 出穂2～3週間前と出穂期頃の除草ができない場合は、出穂期の10日前までには除草しましょう。
- 本田においては、粒剤ならば出穂期～出穂期7日後までに、液剤ならば乳熟期初期(出穂期7～10日後)までに防除しましょう。



## 稲こうじ病対策

- 前年多発した地域では、出穂10日前までに防除
  - ・ ほ場での稲こうじの発生状況を把握しておきましょう。
- 防除のポイントは本田での薬剤防除
  - ・ 銅剤(ドイツポルドーA・Zポルドー粉剤DL等)であれば出穂20～10日前に散布
  - ・ シメコナゾール剤(モンガリット粒剤等)であれば田植直後もしくは出穂21～14日前に散布



## 「胴割粒」等を減らすための刈取適期の目安(裏面参照)

### 地域別刈取適期の目安(早植コシヒカリ)

出穂後日数の目安……38～46日

- 帯緑色粉率が10%から始め3%までに終了しましょう。
- 登熟積算気温は、1,000～1,100℃です。
- 高温年は、収穫開始が早まるので刈遅れに注意しましょう。

	8月		9月		10月
	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬
県南	←→		←→		
県中	←→		←→		
県北	←→		←→		

気象が平年並みの場合の早植コシヒカリの地域別刈取適期の目安です。

# 稲大豆の技術対策（8月）

J A 全農とちぎ 米麦部

## 水 稲（早植えコシヒカリ）

### 1 水管理

出穂期・開花期は水を最も必要とする時期なので、不足しないようにこまめに**間断かん水**を行います。出穂期から20日間の水温・地温を下げることで、胴割粒・白未熟粒の発生が少なくなります。出穂期後30日までは水を切らさないように間断かん水（特に、気温が下がる**夕方から夜間にかん水**）を続けましょう。その後も高温・多照が続く場合は、**収穫7～10日前まで走り水**を行います。台風通過後のフェーン（高温・低湿）時は入水し、根を健全に保ちます。

### 2 斑点米カメムシ類の防除

斑点米を防止する防除適期は第1回が出穂後7～10日、第2回は第1回目防除時期からさらに7～10日後。常発地では2回防除が必須です。（イネカメムシによる不稔防止は出穂期防除が効果的）

### 3 適期収穫

**刈遅れは胴割れ米多発**の主な原因です。

収穫適期の目安は、出穂期からの積算気温1,000～1,100℃、帯緑色もみ率（黄緑色のもみの割合）が10～3%、葉や枝梗は緑色でも、籾はすでに黄変して刈取適期を過ぎている場合があります。暦で判断するのではなく必ず**帯緑色籾率**で判断しましょう。早植えコシヒカリでは出穂後36～46日ですが高温年ではさらに早まります。近年は出穂期が早く8月が高温で経過した年はコシヒカリも**8月下旬から収穫適期**を迎えることがあります。

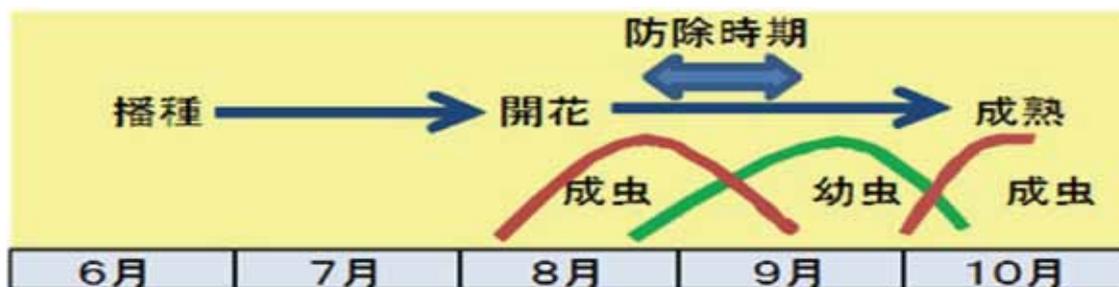
収穫直前にあわてて準備するのではなく、**適期に作業を始められるよう8月上中旬にはコンバインの準備をすませ**ておきましょう。

葉色ではなく籾の色を見て判断する！！  
葉は青々としているが、籾は刈取適期を過ぎている



## 大豆 カメムシ類による大幅な減収を防ぎましょう！

本県で最も減収並びに品質低下が大きい時期と病虫害は、子実肥大中期（9月上中旬）のカメムシ類による吸汁害及びマメシクイガ等による食害です。



ダイズのカメムシ類の発生活消長

無防除の場合はカメムシ類による吸汁被害が甚だしく（360kg→23kgに減収：里のほほえみ2019埼玉農研七）、子実収量はきわめて低くなります。里のほほえみ6月下旬播で開花期（7月末～8月初旬頃）後30日頃（子実肥大初期）の8月末に1回目の防除、更に10～14日後の9月上中旬に2回目、それでも虫が多い場合は9月中下旬に3回目の防除が効果的です。

# ジュース用トマト 新規栽培者募集

令和7年産より  
価格改定!!

こんな方にオススメです!

- ◆ 耕種作物(水稲・麦)と組み合わせた新たな輪作体系を確立したい方
- ◆ 夏季の労働力を有効活用したい方
- ◆ 初期投資や単価変動のリスクをさけて安定的に収益を確保したい方

## ジュース用トマト栽培の特徴

- ◆ 面積契約で**全量出荷可能** (出荷規格適合品)
- ◆ 出荷経費はかかりません (運賃・コンテナ代)
- ◆ 定期的な**栽培指導**や**研修会**の実施



## 栽培スケジュール

時期	3月			4月			5月			6月			7月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作型	仮植 育苗管理			定植			----- 肥培管理・防除 ----- ※ 計10回以上の薬剤散布						収穫		

圃場見学・説明会  
ご案内可能です!!

≪ 経営体系に合わせて栽培体系を選択できます ≫

	手収穫栽培	機械収穫栽培
特徴	収穫適期のトマトを見極めながら、約1か月収穫を実施。	1ha作付けの場合、1週間で収穫可能。定植機・収穫機の無償貸与。(フォークリフト必須)
初年度推奨面積	10a以上	50~100a
出荷荷姿	20kgコンテナ (無償貸出)	450kgコンテナ (無償貸出)
販売単価	52円/kg (R7年産)	51円/kg (R7年産)
	前年比+3円/kg (品種により変動)	前年比+2円/kg
目標反収	8t/10a	5t/10a
販売額 (10a)	416,000円 (目標反収の場合)	255,000円 (目標反収の場合)
費用 (10a) ※ 変動の可能性あり	120,000円 (主な経費: 肥料・農薬・資材)	120,000円 (主な経費: 肥料・農薬・資材)
作業人員	移植・定植: 2~3人、収穫: 2人~	移植・定植: 2~3人、収穫: 6~7人
各種助成 ※ R7年助成のため変更の可能性あり	・フラグ苗 初年度無償 ・初年度 資材費助成 その他助成あり	・定植機、収穫機の無償貸与 その他助成あり

[全農とちぎ 担い手支援課 TEL 028-616-8838]

いつもの作業楽ちんにしませんか？

# 全農ジフィーセブン

良質なココピート100%を不織布（PLA:生分解性プラスチック）で包んだ培土を使用したポット苗です!!

ココピート…ヤシの葉の殻を細かく粉碎した良質培土

## 全農ジフィーセブン 7つのこだわりポイント!

### ポイント1 活着がしやすい

しっかりとした根鉢形成で、定植後の活着が早いのが大きな特徴です。

苗が  
生長しやすい  
環境!



### ポイント2 作業性がバツグン

不織布で覆われているため根鉢崩れがなく定植作業がスムーズに行えます。  
圃場に直接定植できるので作業も楽ちん。

### ポイント3 土壌改良にも最適

良質なココピートを100%使用しており土壌改良にも最適!

### ポイント4 根痛みが少ない

ポリポットを使用しないため通気性も良く根痛みが少ない!根がキレイな状態で定植することができます。

### ポイント6 優れた通気性

通気性にも優れており、根が呼吸しやすく成長しやすい!



### ポイント5 持ちやすいカゴトレイ

カゴトレイでの納品なので、持ち運びが楽に行えます。  
大容量の配送にも対応できます!

### ポイント7 ゴミが出ない

従来の苗のようにポリポットなどのゴミを処分する手間がかかりません。  
SDGsを意識した環境改善ができます!

JA全農とちぎ  
園芸種苗総合センター

TEL.028-665-7944  
栃木県宇都宮市新里町丁字神鳥1655-1

微生物  
資材

バイオスティミュラント

# クロスバリュー<sup>®</sup>

広がる根、実る価値。

®は登録商標



特設ページは  
こちらから



100g規格



製品画像はイメージです



成り疲れ、育苗でお悩みの  
**いちご**農家さんにオススメ!

根の健全化

期待される効果

- ・成り疲れ改善
- ・健苗育成
- ・活着の安定化
- ・品質、収量の安定化

## 上手な使い方



● クロスバリューを**500倍**に希釈し、  
育苗期前半に灌注処理をしてください。  
※定植後の灌注処理においても効果が  
確認されています。  
〈500倍希釈の場合〉  
1株につき、水量50mℓ、  
1袋(100g)あたり1000株の処理ができます

## いちごの有効事例 [社内試験]

事例①

試験地: 栃木県  
処理日: 9月11日  
希釈倍数: 500倍  
効果: **根張り改善**

事例②

試験地: 福島県  
処理日: 9月20日  
希釈倍数: 100倍  
効果: **収量安定**

事例③

試験地: 静岡県  
処理日: 10月4日  
希釈倍数: 500倍  
効果: **欠株減少、収量安定**

高温対策専用バイオスティミュラント

# 炎天マスター<sup>®</sup>

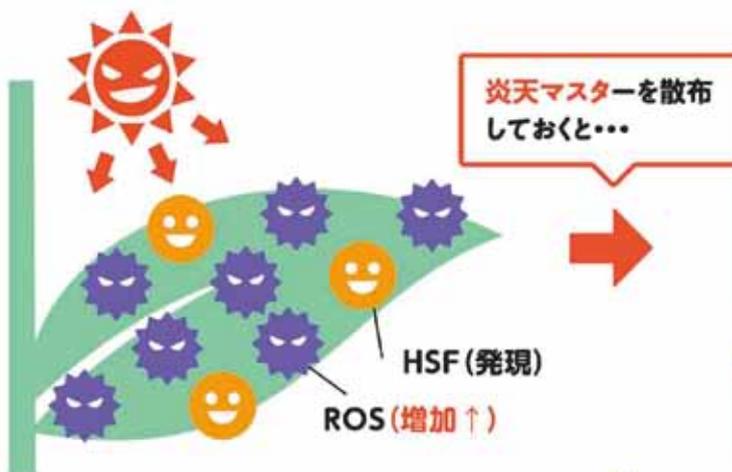


農林水産省登録 生第 108650 号  
【保証成分】窒素全量 1.0%、水溶性加里 10.0%

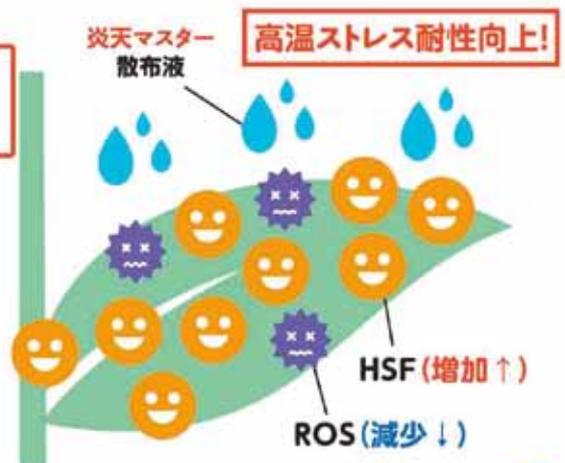
## 高温ストレス軽減



高温ストレス耐性向上成分(\*※1)  
により高温期の作物生産をサポート!



高温ストレスが続くとHSF遺伝子が発現しますが、活性酸素種も増えてくるため植物が弱ってきます。



◎HSF<sup>(※2)</sup> 遺伝子の発現量の増加

◎活性酸素種(ROS)<sup>(※3)</sup> の減少

【HSF遺伝子】<sup>※2</sup> Heat shock transcription factor  
高温ストレスを感じると発現量が増加し  
高温に備える指令を伝える

【活性酸素種(ROS)】<sup>※3</sup> Reactive oxygen species  
ストレスを感じると量が増えて  
植物を傷つける物質



JA&ヤンマー

関東6県JAグループ

# スペシャルトラクター

担い手生産者の皆様へ応援キャンペーン実施中



取組期間:令和7年4月～令和8年3月

**POINT**  
直進アシスト仕様  
(G仕様)を設定し  
作業性向上と作業労力  
低減を実現

**POINT**  
57psの  
パワフルな  
エンジンを  
搭載し様々な  
作業機に対応



## YT357RJY(G)QH

**POINT**  
無段変速搭載(Y仕様)  
により作業労力低減を実現

お問い合わせは JA 農機センターまで

JAなすのサービス(株) 大田原農機センター	TEL.0287-22-6858
JAなすのサービス(株) 黒磯農機センター	TEL.0287-63-4773
JAかみつがサービス(株) 日光農機センター	TEL.0288-30-1191
JAかみつがサービス(株) 鹿沼農機センター	TEL.0289-75-4861
JA佐野 農業機械課	TEL.0283-61-0222
JA足利サービス(株)	TEL.0284-71-1110

JA全農とちぎ はが野広域農機センター	TEL.0285-83-8025
JA全農とちぎ しもつけ広域農機センター	TEL.0282-29-7033
JA全農とちぎ なす南広域農機センター	TEL.0287-82-0055
JA全農とちぎ おやま広域農機センター	TEL.0285-38-2029
JA全農とちぎ しおのや広域農機センター	TEL.028-612-3420
JA全農とちぎ うつのみや広域農機センター	TEL.028-663-2651



# ヤケーヌ 日焼け防止専用マスク

## ピンドット ヤケーヌ

- UVカット率  
98~99%
- 優れた遮熱  
クーリング効果
- 高いUVカット性
- ソフトな風合い



WH307ブラック



WH309ピンク



WH319オフホワイト



WH517ベージュ



WH518ライトグレー



WH519ネイビー

## ヤケーヌ 爽クール

- UVカット率  
90~99%
- 気化熱作用の冷感  
クールマスク
- 水に濡らして  
涼しく使用可能
- 目元は生地二重

お買い求めはお近くのJA店舗まで！

【お問合せ先】JA全農 東日本生活事業所 栃木推進課 TEL:028-616-8855

# 野生を食べる 185 コナギ

コナギは夏になると株元に紫色の花をつける。ミズアオイの仲間なのでなかなかきれいなのだが小さいのでミズアオイほどの派手さはない。結構重要な水田雑草である。除草剤を的確に使用できれば特に問題はないが、昔、有機農業に興味を持ちあちこち見て回った時、コナギに困っていた圃場がよく見られた。農業大学校で先生をやっていた頃、オモダカとコナギの芽生えの姿がそっくりなので、その見分け方を得意になって講義したことを思い出した。葉の先が丸いのがオモダカ、尖っているのがコナギ。



## 料理メモ

江戸時代までは食用とされていたらしいが、昔の歌に「ノビルの酢物で鯛を食べたい、ナギの汁物なんかいらぬ」というのがあつらしく、たいして美味しくなかったのかもしれない。とにかく試食してみようと比較的若そうな葉を摘んできた。泥臭さが心配なので1日間水にさらし、硬そうなのでしっかり茹でた。さらに1日間水にさらして「お浸し」（写真1）にポン酢で食べてみた。やや硬さは残るが食べることはできた。しかし、特に旨味があるわけでもなく食材としては二流と判断。写真2は豆腐との「汁物」。写真3はイカとの「酢味噌和え」。食べることは出来たがおすすめるほどではない。

(aida)



写真1



写真2



写真3

## 編集後記

8月号も最後までお読みいただきありがとうございます。今月号より編集を担当させていただきます山口です。どうぞよろしくお願いいたします。連日の猛暑に追い打ちをかけるように、これから本格的に暑くなっていきますが、こまめな水分補給や涼しい場所での休憩を行い、熱中症にならないように対策していきましょう！（山口）

発行：JA全農とちぎ 担い手支援課

TEL 028-616-8838  
FAX 028-616-8819

生産者のみなさまへ

LINE@

友だち募集中!

ID: @jatochisappcen

スマホで  
読める!

災害情報を  
いち早く  
確認!

送料情報や  
イベント情報を  
お届け!

コードを読み取るか、IDで検索

担い手サポートセンターが  
生産者のみなさまを  
LINEを通してしっかりサポート!